学校番号	T3011

令和８年度　工業科（A 系列）

教科	工業	科目	（学）自動車実習Ⅱ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	自動車整備士養成課程　三級自動車整備士（総合）　（日本自動車整備連合会）						
副教材等	「自動車整備」（実教出版）、「自動車工学１」（実教出版） 「自動車工学２」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車構造を理解し分解・組み立て作業を通じて基本的な動作原理を学ぶ

2　学習の到達目標

【知識及び技能】 自動車の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自動車の各分野の技術に関する課題を発見し、自動車に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術 の進展に対応し解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自動車の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、自動車の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車のシャシ、トランスミッション、電装に関し理解し、これらの分解組立作業を通して基本的な動作原理を習得することができている。	分解作業時においてトランスミッション等の動作原理に基づき、正しく工具を選定し復元・組み立てを意識して作業に取り組める判断力が出来ている。	安全について十分留意して作業し、班内で協力して考えながら冷静に作業を取り組むことが出来る力を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		シャシ実習Ⅰ	a:トランスミッション等の仕組み・構造の理解し作業ができでいるかどうか b:構造を理解し自分で考えて適切な工具の使用ができているかどうか c:自分で進んで作業に取り組み安全に留意し考えて作業ができているかどうか	正しい工具の使用ができているか、	適切な工具を用い、自分で考え作業に取り組むことができているか	自分で進んで作業に取り組み、安全に留意できているか
		ガス溶接	a:ガスの構造・性質を理解し作業ができているかどうか b:危険が伴うので安全に留意し正しく作業に取り組めているかどうか c:自分で進んで作業に取り組み安全に配慮できているかどうか	正しい手順で作業ができているか	適切な角度・速度等で作業ができているか	自分で進んで作業し、考え考察しながら作業できているか
		旋盤実習	a:正しい加工を理解し、適正な作業ができているかどうか b:適正は工具を用い、適切な加工速度で切削できているかどうか c:自分で考え、適切な加工速度でかこうできているかどうか	適切な工具の使用、正しい加工ができているか	適切な回転数・速度で加工できているか	自分で考え、安全に留意しながら作業ができているか
		シャシ実習Ⅱ	a:クラッチやブレーキ等の仕組み・構造の理解し作業ができでいるかどうか b:構造を理解し自分で考えて適切な工具の使用ができているかどうか c:自分で進んで作業に取り組み安全に留意し考えて作業ができているかどうかa:	構造を正しく理解し、適切な工具の使用ができているか	正しい工具選択、構造仕組みを理解し適切な作業ができているか	自分で考え、安全に配慮し作業に取り組むことができているか

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度